



筑豊トライ

NO.39

2021年 2月 22日
発行者：JR九州労組中央本部筑豊支部
発行責任者：南 真一 編集責任者：中村政和

2021年春 ダイヤ改正について

《2021年春ダイヤ改正実施の位置づけと効果について》

会社からの回答：2021年3月ダイヤ改正については、新型車両の投入等を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響等による輸送量の実態にあわせて、九州全域で輸送力の見直し等を行うことにより、輸送力の適正化を図るものである。



☆直方運輸分会に関することをピックアップしてみました。

【都市間輸送】 「かいおう1・4号」を博多～直方間1往復廃止する。
また、「かいおう1・2号」を6両編成から4両編成とする。



【都市圏輸送】 ・門司港～小倉間の最高運転速度の見直しを行う。

現行	門司港～門司間	95Km/h	➡	改正	85Km/h
	門司～小倉間	100Km/h			85Km/h

なぜ？ →線路等級の見直しのため。線路等級を格下げすることによって
検査周期を伸ばすことができる。すなわち経費節減ができる。

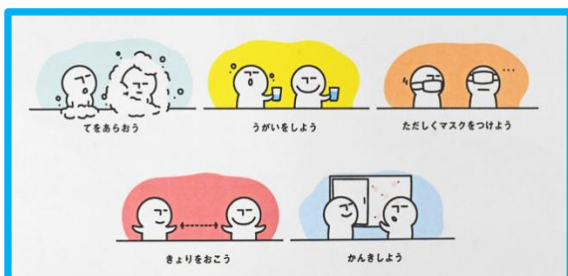
(鹿児島本線) 朝通勤時間帯及び深夜帯の小倉～直方間の直通列車1本廃止。

(筑豊・篠栗線) データタイム・・・ 篠栗～博多間 6往復廃止
直方～黒崎間 3往復廃止



・お客さまのご利用が減少している深夜帯の運転本数と運転区間の見直しによって、
若松・飯塚・篠栗方面への最終列車の時間繰り上げが実施される。

・博多～篠栗間のデータタイム(10時から15時台)の列車本数を1時間あたり3本とし、
概ね20分に1本の運転体系とする。快速列車の停車駅を見直し、博多～篠栗間の各駅に停車とする。



LINE@

JR九州労組 公式アカウント

ID・・・@yqw2478t

QRコード ↓

